モニタリング結果報告書

平成１８年７月

政策体系	番　号	
基本目標	６	男女がともに能力を発揮し、安心して子どもを産み育てることなどを可能にする社会づくりを推進すること
施策目標	７	親子ともに健康な生活を確保すること
	Ⅳ	子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減を図ること

担当部局・課	主管部局・課	雇用均等・児童家庭局母子保健課
	関係部局・課	

実績目標１　子育てに自信が持てない親の割合を減少させること

（実績目標を達成するための手段の概要）

育児不安の軽減等を図るための個別相談指導の他、保育士の指導の下、父親も含めた保護者と子どもを対象としたグループワークを行い、レクリエーション等に興じる中で子どもの状態や親子関係を把握する。

・関連する経費（平成１７年度予算額）
　次世代育成支援対策交付金　３４，５６８百万円の内数

（評価指標の考え方）

実績目標と評価指標が同一であることから、実績目標をそのまま評価指標とした。

（評価指標）	Ｈ１３	Ｈ１４	Ｈ１５	Ｈ１６	Ｈ１７
子育てに自信が持てない親の割合（%）	－	－	－	－	25.2

（備　考）

評価指標は、平成12年度幼児健康度調査（社団法人小児保健協会）に基づいており、当該調査は10年ごとに実施している。平成12年度の当該指標は27.4%。

なお、平成17年度の指標については、上記評価指標を含む国民運動計画である「健やか親子21」の中間評価作業の一貫として実施された、厚生労働科学研究「健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」（主任研究者：山縣然太朗）の結果に基づく。

実績目標２　育児に参加する父親の割合を増加させること

（実績目標を達成するための手段の概要）

育児不安の軽減等を図るための個別相談指導の他、保育士の指導の下、父親も含めた保護者と子どもを対象としたグループワークを行い、レクリエーション等に興じる中で子どもの状態や親子関係を把握する。

・関連する経費（平成１７年度予算額）

次世代育成支援対策交付金　３４，５６８百万円の内数

（評価指標の考え方）

実績目標と評価指標が同一であることから、実績目標をそのまま評価指標とした。

（評価指標）	Ｈ１３	Ｈ１４	Ｈ１５	Ｈ１６	Ｈ１７
育児に参加する父親の割合（％）	－	－	－	－	44.9

（備　考）

評価指標は、平成12年度幼児健康度調査（社団法人小児保健協会）に基づいており、当該調査は10年ごとに実施している。平成12年度の当該指標は37.4％。

なお、平成17年度の指標については、上記評価指標を含む国民運動計画である「健やか親子21」の中間評価作業の一貫として実施された、厚生労働科学研究「健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」（主任研究者：山縣然太朗）の結果に基づく。